

所管事務調査報告

総務経済常任委員会

調査事項

町営住宅の実態について

調査年月日

・平成23年1月25日
・平成23年5月26日

調査の概要

本委員会は、町営住宅の実態について「松前町町営（転用）住宅団地一覧表」「松前町町営（転用）住宅建築年度別棟（戸）数一覧表」等の資料に基づき、事情聴取及び現地調査を行った。

所見

町営住宅は、教職員住宅からの転用を含め、現在百16棟3百94戸建築されている。もつとも古い住宅は昭和29年度に建築され56年を経過しているなど、58棟百92戸の住宅が既に耐用年数

を越え、老朽化している状態にあり、安全性から早急な建て替え、解体が必要となっている。

平成14年に策定された、「松前町公営住宅ストック総合活用計画」に基づき順次建て替え、修繕が実施されてきているが、平成24年度からは、新たな「松前町公営住宅長寿命化計画」に移行する。この計画は、今年度中に策定され、ストック計画をさらに拡充し、既設住宅を改修して耐用年数を延ばすなど効率的・効果的な維持管理を図る事を目的としている。計画策定にあたっては、職員のみでなく民間人を加えた委員構成とし、地域的なバランスや町民ニーズを反映させるべきである。

また、従来より指摘されている防音対策の強化や既存の住宅を含めたソーラーパネルの設置、民間の空き家の買い取りまたは借り上げなど、計画策定にあつ

ては、充分考慮されたい。入居者3百54世帯の年齢階層（世帯主）では、60歳を超える世帯主が百46名41・2%、うち単身世帯は90名61・6%で、高齢の単身世帯が多くなっている。出稼ぎ等で長期不在となっている住宅も見受けられ、居住環境の悪化が懸念され、隣接する入居者に不安を与えている。入居者の高齢化や長期不在者がいる状況にあつては、ひとつのコミュニティとして、また高齢者福祉の観点からも、少なからず実態を把握する必要性があると思われる。限られた職員による日常的な実態把握は困難であり、平成16年度まで行われていた管理人制度（年額報酬6千円）を復活させるなど、町内会との連携をもつて住みよい団地環境の向上を図るべく検討されたい。

ては、充分考慮されたい。入居者3百54世帯の年齢階層（世帯主）では、60歳を超える世帯主が百46名41・2%、うち単身世帯は90名61・6%で、高齢の単身世帯が多くなっている。出稼ぎ等で長期不在となっている住宅も見受けられ、居住環境の悪化が懸念され、隣接する入居者に不安を与えている。入居者の高齢化や長期不在者がいる状況にあつては、ひとつのコミュニティとして、また高齢者福祉の観点からも、少なからず実態を把握する必要性があると思われる。限られた職員による日常的な実態把握は困難であり、平成16年度まで行われていた管理人制度（年額報酬6千円）を復活させるなど、町内会との連携をもつて住みよい団地環境の向上を図るべく検討されたい。



字豊岡の町営住宅視察の様子

厚生文教常任委員会

調査事項

社会教育施設の実態について

調査年月日

- ・平成23年1月31日
- ・平成23年5月18日

調査の概要

本委員会は、社会福祉等について「松前町社会教育施設一覧表」「松前町社会教育施設維持管理費の状況」等の資料に基づき、事情聴取及び現地調査を行った。

所見

松前町社会教育施設は公民館、体育館、グラウンドなど11施設が現存し、うち松前町民プールと大沢町民グラウンドが休止している状況にある。

過去における当町の人口や町民ニーズの上に設置さ

れた現在の施設は、公民館をはじめ各体育館など、建設から30年以上経過し、老朽化が著しくなっており、各施設の安全性など、精査が必要である。

各施設の利用状況は、少子高齢化による人口減少や若年層の町外流出などにより、利用者の減少が顕著となっており、江良町民体育館においては管理人の常駐を廃止したことから、一般開放は行われず団体利用のみとなっている。

各施設の在り方については、当町社会教育行政の目的に照らし合わせ、目的達成のため必要か不必要か補修しながら維持管理を継続するのか、類似施設を集約するなど、小中学校の適正配置と併せ抜本的な見直し、検討の時期にきている。また、各体育館などは本来のスポーツ施設としての役割に留まらず、地域住民のニーズに対応し、管理体制など利用しやすい方策を

検討されるべきである。

さらに、休止施設を含め歴史、文化にかかる資料展示館や福祉関連施設への転

用を図るなど、財政面からも有効な活用を検討されたい。



交流の里づくり館視察の様子

議員研修会

北海道町村議会議長会主催の議員研修会が7月5日札幌コンベンションセンターで開催され10名の議員が参加しました。

研修会では、東京大学先端科学技術研究センター教授の御厨貴氏が「今後の政党政治の行方」、経済評論家の内橋克人氏が「今後の日本経済展望」と題し講演をしました。



講演者の発言に耳を傾ける議員



北海道町村議会議長会副会長として閉会のあいさつをする齊藤議長